

## 進路指導とは

- ・「進路選択」に関わる指導というだけではなく、児童生徒が社会の中で豊かに生きる力をはぐくむ「生き方指導」である。
- ・日常的な教育活動と深く関わっているものであり、全ての児童生徒に対して、教職員全員で行うものである。
- ・保護者の理解・協力を得ておこなうものであり、「進路選択」は本人、保護者、学校の三者が共に考えていくものである。

## 各学部における進路指導

### ①小学部における進路指導

小学部では、身辺処理の能力、言葉、読み書き、計算の能力といった個人的な能力をのばすと共に、挨拶や礼儀などのマナー、人とのコミュニケーションの取り方など社会生活の基本となる事柄を学ぶ。また、社会資源を利用して生活経験を広げていく取り組みも必要である。

#### 【A 社会の中で豊かに生きる力を育む指導】

- 1 健康の維持
- 2 日常基本生活習慣の確立
- 3 好きなことを増やすことによる興味・関心の幅の拡大
- 4 生活経験の拡大
- 5 コミュニケーションの確立
- 6 集団生活の経験
- 7 保護者と共に地域生活への参加
- 8 基礎学力の修得
- 9 障害の理解
- 10 責任ある役割分担の経験
- 11 自己判断・自己決定の力の育成

#### 【B 進路選択をするための指導】

- 1 仕事について知り、将来への夢を持つ。
- 2 進路先見学をする。
- 3 中学校、中学部など進学先に関心を持つ。

### ②中学部における進路指導

中学部では、小学部より積み上げてきた学習成果に加え、「仕事をする力」「生活を楽しむ力」「社会生活をする力」といった卒業後の生活に直結する具体的な力をはぐくむ必要がある。

【A 社会の中で豊かに生きる力をはぐくむ指導】

- 1 健康の維持
- 2 日常基本生活習慣の定着
- 3 生活経験のさらなる拡大
- 4 コミュニケーションの幅のさらなる拡大
- 5 多様な集団生活の経験
- 6 熱中できるものの獲得
- 7 地域生活・社会生活への参加を経験し関心を高める
- 8 基礎学力の修得
- 9 障害の受容
- 10 仕事に対する関心・意欲の拡大
- 11 自主性・問題解決力の育成

【B 進路選択をするための指導】

- 1 社会見学や施設見学を通して、社会への関心を持つ。
- 2 進路先を見学をする。
- 3 進学先や卒業後の生活に関心を持つ。
- 4 就労体験。

### ③高等部における進路指導

高等部では、小学部・中学部で養ってきた力を生かして、校内や校外で具体的かつ実際の体験を経験し、卒業後の社会生活に向けた準備を行う。また、併せて「自己理解」「自己選択」「自己決定」等の力を身に付ける。

【A. 社会の中で豊かに生きる力を育む指導】

- 1 健康の維持
- 2 生活習慣の定着と社会性の獲得
- 3 自分に必要な生活力の獲得
- 4 コミュニケーション方法の習熟
- 5 地域社会とのつながりの拡大
- 6 余暇の利用の仕方を学ぶ
- 7 基礎学力の修得
- 8 仕事に対する意欲・責任の自覚
- 9 自己理解、他者理解をする力の獲得
- 10 自己決定、自己選択、問題解決の力の獲得
- 11 自己実現への考察

【B. 進路選択をするための指導】

- 1 進路先を具体的にイメージする。
- 2 校内実習、現場実習。
- 3 進路先を見学する。
- 4 進路に関する自己理解。